

地域別意見交換会における参加者からの意見(全 17 回開催分)

1 長井地区意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和 5 年 8 月 1 日（火）10 時から 12 時まで

会場：長井コミュニティセンター 第 2 会議室

参加者：10 名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・毎日実施しているラジオ体操は安否確認にも一役買っている。
- ・防災訓練の際に参加者へ煮込みうどんをふるまっている。ふるまいの時の交流を目当てに参加する人もいる。

イ 地域の問題

- ・高齢者の居場所がない。また、高齢者が多くなったため、町内会館・自治会館に入りきらない。会合を数回に分けると支援者側の負担が大きくなる。
- ・公共交通機関が整っておらず、不便。
- ・雇用がないことによる若者の流出。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・サロンを開催できていない町内会・自治会に対して、出張サロンの開催を検討したい。
- ・地域活動をしている人と地区ボランティアセンターのつながりを作りたい。
- ・コミュニティバスの導入を検討している。
- ・子どもと高齢者が一緒に集まれる場を作りたい。

エ 要望（施策）

- ・買い物弱者がいるため、移動販売を希望する意見があった。

2 本庁地域意見交換会（第1回目）

（1）概要

開催日時：令和5年8月4日（金）10時から12時まで

会場：横須賀市役所 3号館3階302会議室

参加者：22名

（2）意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・顔が見える人と人とのつながりがある。
- ・段差があることで集いの場として利用しにくかった町内会館・自治会館に、手すりを設置することで、利用しやすくなった。

イ 地域の問題

- ・民生委員児童委員の担い手が不足している。
- ・世代を問わず地域のつながりが希薄化している。
- ・ごみ出しや買い物が難しい人がいる。宅配も活用するが、注文の下限額があるため、利用しにくい。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・将来的に廃止される公共施設がある場合には、その跡地を地域のために活用したい。
- ・空き家を活用して、小人数で集まれる集いの場を運営したい。
- ・高齢者・障害者といった限定をせず、多世代で交流したい。
- ・地区ボランティアセンターを子どもの下校時間まで開所して、日ごろから関わりを持ちたい。
- ・ハロウィンイベントや花火大会を実施した。今後は、近隣の地域と合同で実施したい。
- ・「民生委員児童委員は大変。」というイメージが根強いが、近年では勤めながら活動する人もいる。こうした事例を周知していきたい。
- ・地区ボランティアセンターにも「ワンコインボランティア」を導入していきたい。

エ 要望（施策）

- ・「広報よこすか」が行政の広告のようになっているので、福祉等の住民目線の情報が欲しい。
- ・今回の意見交換会のように、皆で顔を合わせて話をする場を今後も継続していきたい。
- ・市職員に地域のことを知ってほしい。地域の力になってほしい。
- ・障害等専門的なケースワーカーを派遣してほしい。

3 大津地域意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月8日（火）10時から12時まで

会場：大津コミュニティセンター 学習室5

参加者：13名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・シニア世代が積極的に地域活動に取り組む中で、シニア世代から現役世代へと、福祉の精神が受け継がれているように感じる。
- ・地域の問題がボランティアに届く前に、日頃のつながりの中で解決されることが多い。
- ・地域のつながりが強く、殊更に団体を作らなくとも、お互い様の精神でうまく支え合っている。

イ 地域の問題

- ・災害時などに配慮が必要な人（障害者、ひとり親世帯等）を地域で把握できていない。
- ・世代交代がうまく進んでいない。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・地域活動の核である町内会・自治会活動を、地域の各団体とも協力して盛り上げていきたい。
- ・子ども食堂の活動を地域全体に広めたい。
- ・他地域の取り組みを参考に、神奈川県立保健福祉大学の学生と関係を持ちたい。
- ・顔の見える関係を築くことで、自然と地域の状況を把握できるようにしたい。

エ 要望（施策）

- ・雇用を増やし現役世代を地域に定着させるために、企業誘致に力を入れてほしい。
- ・市の広報などインターネット等を経由して発信される情報が増える中で、インターネット等で情報を得ることが難しい人に配慮してほしい。
- ・障害者への偏見を取り除くために、直接顔を合わせる機会を設けてほしい。
- ・地域福祉の推進のために、学校にも協力してほしい。
- ・「誰も一人にさせないまち」は実現こそ難しいが大事な概念である。さまざまな意見があると思うが言い続けてほしい。
- ・小・中学校の給食で使用した食材の余りを、子ども食堂に融通してほしい。

4 衣笠地域意見交換会（第1回目）

（1）概要

開催日時：令和5年8月10日（木）10時から12時まで

会場：衣笠コミュニティセンター 第1会議室

参加者：4名

（2）意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・ICTの活用など、先進技術への関心が高い。
- ・地域包括支援センターの職員が地域のラジオ体操に参加し、顔の見える関係が築けている。

イ 地域の問題

- ・日中、地域にいない消防団員が多く、非常時の連絡が地域に行き届かないのではないかと危惧している。
- ・問題を抱える子どもを地域で把握できていない。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・地域の現役世代と協力して、シニア世代向けのスマートフォン講座を開きたい。
- ・民生委員児童委員に協力してもらい、地域の見守りを強化したい。

エ 要望（施策）

- ・スマートフォン講座の開催時には、便利な機能や実際に使用した場合の利点などを紹介して、利用の動機付けをしてほしい。
- ・一人暮らしの障害者の中には、福祉サービスを受けるための申請書類が郵送されても記入できない人がいるので、相談支援事業所にも情報提供してほしい。
- ・障害者が地域の輪に入るための一歩がなかなか踏み出せない。輪に入るまでのアプローチの段階で行政にもサポートをお願いしたい。
- ・非常時に行政と町内会・自治会が連絡をとれるように、行政センターで町内会・自治会のトランシーバーを保管してほしい。
- ・「ヤングケアラー」など問題を抱える児童・生徒の課題に取り組むため、学校と交流したい。

5 武山地区意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月10日（木）15時30分から17時30分まで

会場：武山市民プラザ 会議室A・B

参加者：9名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・地域活動が活発な地区がある。
- ・日頃から安否確認ができるように住民同士で雨戸が閉めっぱなしになっていないか見守るなどの意識がある。
- ・町内会加入のメリットがあるように、夏祭りの際に引き換えができる「景品引換券」を回覧板で回している。

イ 地域の問題

- ・地域のイベントが日常的なつながりの生成に結び付いていない。
- ・一人暮らしの高齢者を地域で十分に把握できていない。
- ・地域住民が気軽に集える場がない。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・障害者との精神的な距離を縮めたい。
- ・日頃のコミュニケーションを強化して、災害時等に十分な対応ができるようにしたい。
- ・地域の関係性を強化し、見守りたい。
- ・商店まで出られない人のために、移動販売車を呼びたい。

エ 要望（施策）

- ・長井地区のように「まちの保健室」を開けたらいい。
- ・横須賀市では終活、遺言、相続のほか外国人の在留資格の手続き等について、行政書士会による無料相談会を実施していることを広く周知してほしい。
- ・住民と行政が顔の見える関係になるため、職員が一つの部署に所属する期間を延ばしてほしい。

6 浦賀・鴨居地域意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月16日（水）13時から15時まで

会場：浦賀コミュニティセンター分館 第2学習室

参加者：9名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・隣近所で助け合える関係性が築けている。
- ・民生委員児童委員や社会福祉推進委員を45～60歳の現役世代が担っており、円滑に世代交代が進んでいる町内会・自治会がある。
- ・サロンの企画担当を当番制にして、みんながサロンを企画できるようになった。

イ 地域の問題

- ・児童委員としての活動が地域に把握されていない。民生委員活動とともに周知に努めたい。
- ・地域のイベント情報を知ることができず、参加できない人がいる。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・一人では地域のイベントへの参加が難しい人を、迎えに行くサービスを展開したい。
- ・地域の銀行や病院、薬局と連携し、地域のイベント情報を得る機会を増やしたい。

エ 要望（施策）

- ・高齢者の救急搬送の際に、民生委員児童委員、社会福祉推進委員、ケアマネジャー等が救急車への同乗を求められ、負担が大きくなっている。消防局のほか、医療機関にも同乗を求めないよう周知してほしい。
- ・地域に根ざした施設が廃止予定なので、地域住民が集える場が欲しい。
- ・民生委員児童委員に靴カバーやビニール手袋等を支給してほしい。

7 久里浜地域意見交換会（第1回目）

（1）概要

開催日時：令和5年8月18日（金）10時から12時まで

会場：横須賀市教育研究所 第2研修室

参加者：15名

（2）意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・地域活動で、世代を超えた連携ができています。
- ・青年会と老人会の間層に当たる組織があり、活動しています。
- ・町内会・自治会の高齢者組織に「老人」という名称を使用しないことで、士気を高めています。
- ・夏祭りイベントの際に、防災倉庫や給水場所を巡るポイントラリーを取り入れた。
- ・マンション居住者向けのイベントを行ったが、近隣の子どもも参加してくれた。

イ 地域の問題

- ・現役世代の地域への関心が失われている。
- ・障害者と地域のつながりが築けていない。
- ・ボランティアの高齢化により、担い手が不足している。
- ・マンションの高層階では、被災時に給水が難しい。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・障害者施設（調理室やステージ等）を利用してもらい、地域の集まりやイベントを開催したい。
- ・町内会・自治会と協力して、障害者施設の様子や活動内容を回覧板に掲示し、地域とのつながりを深めたい。
- ・地域内の現役世代を重用し、関係性を築くきっかけを作りたい。
- ・地域の行事に参加してもらい、地域住民の頑張りや地域の伝統を学べる機会を作りたい。
- ・障害者施設の開放や地域のイベントを通して、関係を強化したい。
- ・地域の中学生と交流する機会を持ちたい。
- ・買い物支援策をさらに充実させたい。

エ 要望（施策）

- ・意欲のある民生委員児童委員が活動を続けられるよう、民生委員児童委員の定年制度を見直してほしい。
- ・民生委員児童委員の定年制は維持しつつも、定年を延長できる仕組みにしてほしい。

8 逸見地域意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月19日（土）13時から15時まで

会場：逸見コミュニティセンター 学習室

参加者：10名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・地域の結束が強い。
- ・住み続けたいと思う人が多い。
- ・民生委員児童委員の欠員区域を、他の民生委員児童委員だけでなく、地区社会福祉協議会もフォローしている。

イ 地域の問題

- ・自宅まで車が入れないため、交流拠点に行けない人がいる。
- ・地域の団体内の人間関係が強くなり、新規会員が入りづらくなっているように感じる。
- ・地区社会福祉協議会や民生委員児童委員の活動が地域に知られていない。
- ・現役世代への引継ぎができていない。
- ・現役世代がボランティアに参加できない。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・マンションでも、イベントを通して、住民相互のつながりを築きたい。
- ・地域で昔から続く関係性を、次の世代へ継承したい。
- ・日頃の活動を通して、地区社会福祉協議会や民生委員児童委員の存在を周知していきたい。
- ・障害者団体と地区社会福祉協議会とで協力し、障害者と住民の顔の見える関係を築きたい。

エ 要望（施策）

- ・新任の民生委員児童委員が活動内容を学ぶ機会を設けてほしい。
- ・地域活動のデビューをするときに行政にサポートしてもらいたい。
- ・谷戸の住宅からの住み替えを支援してほしい。

9 衣笠地域意見交換会（第2回目）

（1）概要

開催日時：令和5年8月21日（月）13時から15時まで

会場：衣笠コミュニティセンター 第1会議室

参加者：6名

（2）意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・互いに助け合うつながりを、地域の中で築けている。
- ・コロナ禍前は障害者施設の利用者も共に防災訓練等を行った。
- ・障害者地域作業所として防災訓練に参加したところ、温かく受け入れてもらえた。

イ 地域の問題

- ・災害時の対応を地域住民の一部しか把握していない。
- ・地区ボランティアセンターに依頼が来ても、依頼があった地区でボランティア登録がないことがある。
- ・新しく住んだ人と顔の見える関係性が築けていない。
- ・高齢者の中には町内にある坂道を自力で下りられない人もおり、買い物の同行支援等を必要としている。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・回覧板等を投函する際に、一人暮らしの高齢者に声を掛けられたら良い。
- ・高所の地区に住んでいる高齢者は行動範囲が限られているので、イベントを企画し、楽しんでもらいたい。
- ・災害時の対応の情報周知に努めるとともに、住民への当事者意識の浸透を徹底したい。
- ・障害者地域作業所がお祭りにも参加し、地域住民と顔の見える関係づくりを進めたい。

エ 要望（施策）

- ・民生委員児童委員に負担が集中しているので、地域で負担を分散できるように制度を整えてほしい。
- ・民生委員児童委員の役割ではないが、民生委員児童委員が担わざるを得ないケースがあることを理解してほしい。
- ・避難所運営委員が災害時の対応を全てやってくれると思っている人がいるので、被災時は住民の中から避難所運営委員を選び、運営する必要があることを改めて周知してほしい。

10 本庁地域意見交換会（第2回目）

（1）概要

開催日時：令和5年8月22日（火）13時から15時まで

会場：横須賀市役所 3号館3階301会議室

参加者：26名

（2）意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・地域のネットワークが形成されており、町内会・自治会、老人会の活動が活発な地域がある。
- ・集合住宅の居住者台帳に血液型などの詳細な情報を書き加えることで、非常事態への対応に役立てている。
- ・障害者も共に防災訓練等を行った。

イ 地域の問題

- ・町内会・自治会役員や民生委員児童委員の担い手不足。
- ・現役世代をどうやって地域の活動に巻き込んでいくか。
- ・一人が好きな人、人とつながりを作ることができない人とどうやってつながるか。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・町内会・自治会や民生委員児童委員の活動が地域に理解されていないので、まずは知名度の向上に努めたい。
- ・要援護者と支援可能な住民とのマッチングを進めていきたい。
- ・地域の現役世代と協力して高齢者向けのLINE教室を開き、現役世代と高齢者との関係性を築きたい。
- ・神奈川県立保健福祉大学内の学生ボランティアセンターと積極的に連携して活動していきたい。
- ・障害者地域作業所は近所付き合いがあるわけではないので、地域との交流の機会を設けることで、情報共有と連携の強化を図りたい。
- ・地域の中学生との交流を図りたい。

エ 要望（施策）

- ・家庭を築くことを望まない人もいるということへの理解を深めてほしい。
- ・うわまち病院等の跡地活用の検討が進んでいない。住民の不安を解消するためにも、早急に活用法を検討してほしい。
- ・障害者が困った時に「助けてほしい」と声を上げることのハードルが高いことを知ってほしい。
- ・地域福祉計画（概要版）に地域の担い手として多くの団体が羅列されているが、同一人が複数の団体の役員を兼任している場合も多いことを理解してほしい。

- 自家用車を保有しない世代のため、コミュニティセンター等の公共施設を駅前に集約してほしい。
- J R横須賀駅における、J R横須賀線と京急バスの発着時間が合うように、京急バスに働きかけてほしい。

11 北下浦地域意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月23日（水）10時から12時まで

会場：北下浦コミュニティセンター 第1学習室

参加者：19名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・民生委員児童委員と社会福祉推進委員の連携が築かれている。

イ 地域の問題

- ・災害時の対応を民生委員児童委員に依存している住民が多い。
- ・緊急連絡先がなく、福祉サービスを受けられない高齢者がいる。
- ・町内会・自治会に加入していない住民への情報共有が難しい。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・問題を抱えた地域住民を行政や地域包括支援センター等に紹介した後の、継続的な支援を地域でも担えるようにしたい。
- ・一人暮らしの高齢者だけでなく、高齢者のみの世帯への支援も強化していきたい。
- ・民生委員児童委員活動の理解促進をしたい。
- ・地域の防災意識の向上に努めたい。

エ 要望（施策）

- ・学区の都合で、地域の友人と違う学校に進学しなければならない子どもがいるので、学校選択の条件を緩和してほしい。
- ・民生委員児童委員を地域の便利屋と勘違いしている人がいるので、無償で活動しているボランティアであることを改めて周知してほしい。
- ・被災時は、住民の中から避難所運営委員を選び、運営する必要があることを改めて周知してほしい。
- ・住民票の異動と連携して、民生委員児童委員に情報が提供されるようにしてほしい。
- ・地域福祉計画（概要版）における『「地域福祉」のイメージ図』ではカテゴリごとに表現されているが、一人ひとりの人生として関わってほしい。

12 大楠地区意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月23日（水）15時30分から17時30分まで

会場：西コミュニティセンター 第3学習室

参加者：7名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ（現状）

- ・地域の課題を地域の中で解決できている。
- ・健民運動会や福祉なんでも文化祭等のイベントを行っている。
- ・ラジオ体操が住民の近況報告会を兼ねている。

イ 地域の問題

- ・青少年の家や幼稚園など地域の施設が閉鎖されてしまい、集まる場所がなくなる。
- ・大楠地区全体で行うイベントが他の地区と比べると少ない。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・盛況だった子ども食堂をこれからも継続していきたい。
- ・地域の外国人と関係を築いていきたい。

エ 要望（施策）

- ・利便性だけでなく関係性の築きやすさを、まちづくりの指標に取り入れてほしい。
- ・横須賀市は森記念財団都市戦略研究所が実施した「日本の都市特性評価2023」において、環境部門で第2位となっている。特に快適性が高く評価されているので、この分野を伸ばして欲しい。
- ・お寺が主催して子ども食堂を開催している事例がある。宗教法人ではあるが、行政の方向性と合致する場合には協力してほしい。

13 久里浜地域意見交換会（第2回目）

（1）概要

開催日時：令和5年8月24日（木）10時から12時まで

会場：久里浜コミュニティセンター 和室

参加者：7名

（2）意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・地域の活動に意欲的な住民が多い。
- ・ごみステーションを輪番で移動させることで、管理の負担を分散するとともに、利用者の意識の改善につながった。
- ・お祭りやイベントの企画や運営等を若手に任せ、時間が足りない準備の部分は高齢者が引き受けるといった形で分業することで次世代への継承を図っている。

イ 地域の問題

- ・学校と地域との連携体制が築けていない。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・障害者施設や学校と協力して、地域一体で参加できるようなイベントを計画したい。
- ・学校と交流しながら避難訓練を行いたい。避難訓練の日程を調整するなどして、学校が協力しやすい体制を作りたい。

エ 要望（施策）

- ・消防団や商工会議所など、より多様な地域の担い手と意見交換する機会を設けてほしい。
- ・現状を鑑みて、民生委員児童委員制度を根本的に見直してほしい。
- ・今回の地域別意見交換会で出された意見をまとめて、それが計画策定にどう反映されたのか共有してほしい。
- ・ごみを戸別収集してほしい。

14 田浦地域意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月24日（木）15時30分から17時30分まで

会場：田浦コミュニティセンター 第2・3学習室

参加者：8名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・地域への帰属意識を育むことができている。
- ・年に一度、地域をあげて防災訓練を行っている。
- ・町内会・自治会の運営方法として、万が一の時、副会長誰もが会長の代行となれるように準備している。

イ 地域の問題

- ・地域に日用品を購入できる店舗がなく、市外に買い物に出かけている人がいる。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・地区ボランティアセンターの広報誌で、町内の情報を発信したい。
- ・一人暮らしの高齢者だけでなく、高齢者のみの世帯への支援も強化していきたい。

エ 要望（施策）

- ・学校の統廃合において、通学路が危険だと指摘されているが、同校は避難所にも指定されている。地域に示す前に市の内部で精査してほしい。
- ・被災時に、避難所になっている自治会館に支援物資を届けてほしい。

15 追浜地域意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月25日（金）13時から15時まで

会場：追浜コミュニティセンター 第2学習室

参加者：12名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・地域活動が活発である。
- ・子ども服や日用品を互いに持ち寄って、必要な人に譲る集まりがある。その際に、育児に不安のある保護者が集まり、高齢者から話を聞いている。
- ・避難訓練の際、障害者支援団体の職員を講師として招き、支援方法を学んでいる。

イ 地域の問題

- ・障害者やひきこもりなど、支援が必要な人の情報を地域で共有できていない。
- ・住民が地域の活動に参加せず、各世帯の情報を得ることができない。
- ・福祉サービスの存在が、支援を必要とする人に伝わっていない。
- ・地域に住む外国人と顔の見える関係性づくりができていない。
- ・「8050問題」など、困っている実感がない人への対応が難しい。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・地域の各団体で協力して、地域の中核を担うことができるような大きなイベントを開催したい。
- ・地域住民に呼びかけて、障害者の受入れ体制を強化したい。

エ 要望（施策）

- ・再開発によって地域内格差が拡大してしまうので、格差を是正する取り組みをしてほしい。
- ・高齢者の健康寿命を延ばす支援をしてほしい。
- ・現状の福祉は高齢者への支援に偏っていると感じる。子どもへの支援が十分にできていないのではないか。
- ・地域の各団体で連携して、衣笠公園の「子どもデー」のように大きなイベントを開きたい。

16 全市地域意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月26日（土）13時から15時まで

会場：横須賀市立総合福祉会館 2階会議室

参加者：6名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・障害者地域作業所のお菓子を浦賀奉行所の土産品として、付加価値を付けて販売した。
- ・防犯パトロールをしていると、児童・生徒が声を掛けてくれる。

イ 地域の問題

- ・福祉団体の活動が地域住民に周知されていない。
- ・地域に子どもの遊び場がない。
- ・福祉のサービスを利用することに抵抗感のある人がいる。
- ・福祉の仕事をしていると、一般の人の価値観とずれを感じることもある。
- ・一度問題が起きると、その取り組みは敬遠される風潮がある。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・解決できない問題はチームを作って取り組んでいく。
- ・支え手と受け手の新しい境界線を作りたい。

エ 要望（施策）

- ・学校教育の中で障害者と生徒が接する機会を設けるなど、「道徳」と同じように「福祉」の授業を小学校から取り入れてほしい。
- ・各課で核となる職員を養成するため、人事異動の間隔を長くしてほしい。

17 長浦地域意見交換会

(1) 概要

開催日時：令和5年8月27日（日）18時から20時まで

会場：長浦コミュニティセンター 第2会議室

参加者：14名

(2) 意見交換

ア 地域の良いところ・良い取り組み（現状）

- ・40～50代の住民の地域活動に対する意識が高く、健民運動会の運営に積極的に関わってくれている。
- ・町内会・自治会の班長・組長が新しく引っ越してきたお宅を訪問して、町内会・自治会への加入を依頼しているので、町内会・自治会の加入率が高い。
- ・管内で犯罪があると、防犯協会が関係者に情報を提供してくれる。こうした取り組みを維持できるほど、地域における犯罪は少ない。
- ・子ども会の加入率が高いため、子どもの把握はできていると感じる。

イ 地域の問題

- ・地域に人が集まる拠点がない。
- ・地域に関わっているケアマネジャーを把握できていない。
- ・地域のつながりを求めない人がいる場合の対応方法が分からない。
- ・災害時に、一人暮らし高齢者を避難させる方法がない。

ウ 今後取り組みたいこと（施策）

- ・地域に顔を出さない住民と関係を築きたい。
- ・コロナ禍後、イベントの参加者が増えているので、賑わいを維持するための取り組みをしたい。

エ 要望（施策）

- ・休祝日に時間を問わず対応してくれる窓口が欲しい。
- ・防災意識の啓発に力を入れてほしい。
- ・人が集まる拠点にするために自治会館を改修したいが、自治会費を値上げすることは難しい。市の補助金を拡充してほしい。